

○新図書館等複合施設の事業費について(周辺整備等を除く)

1 総事業費(イニシャルコスト)について

区分	当初 [H23.6議会]	概算(A) [H24.3議会]	今回(B) [H25.3議会]	(B)-(A)	備考
① 建築工事費	8,100	8,080	8,613	533	南海トラフ巨大地震の新想定 対応による増額
② 建築工事費(災害対策追加分)	未計上	88	88		
③ 設備整備費	1,406	1,400	1,401	1	
④ 外構工事費	未計上	97	98	1	
⑤ 設計監理費(地質調査含む)	356	438	421	△ 17	
⑥ 埋蔵文化財発掘調査費	150	110	111	1	
⑦ 図書館情報システム整備費	402	538	534	△ 4	
⑧ その他経費(ICタグ購入費等)	191	152	145	△ 7	
合計	10,605	10,903	11,411	508	

(単位:百万円)

今回(B') (区分見直し後)	～ H24 予算執行	H25 予算	H25現年		H26～ 予算見込
			H25現年	債務負担	
9,572		9,572	570	9,002	
①に計上					
530					530
98					98
421	318	103	15	88	
111		111	75	36	
534	10	327	36	291	197
145		145	※ 93	52	
11,411	328	10,258	789	9,469	825

②及び③のうち、プラネタリウム工事、家具工事は①に計上

※ 校舎の解体及び周辺整備等を除く
※ 消費税は5%で計算

市民図書ラベル貼付(市発注分)
17百万円を含む

2 事業費の財源等について

(単位:百万円)

区分	全体事業費	県						市	
		事業費	交付金	起債 ①	一般財源 ②	起債交付税 措置額 ③	実質負担額 ①-③+②	事業費	実質負担額
新図書館	9,769	5,672	1,822	3,037	813	608	3,242	4,097	960
新点字図書館	453						※ a 62	453	※ b 62
こども科学館(仮称)	1,189						※ a 158	1,189	※ b 158
合計	11,411	5,672	1,822	3,037	813	608	3,462	5,739	1,180

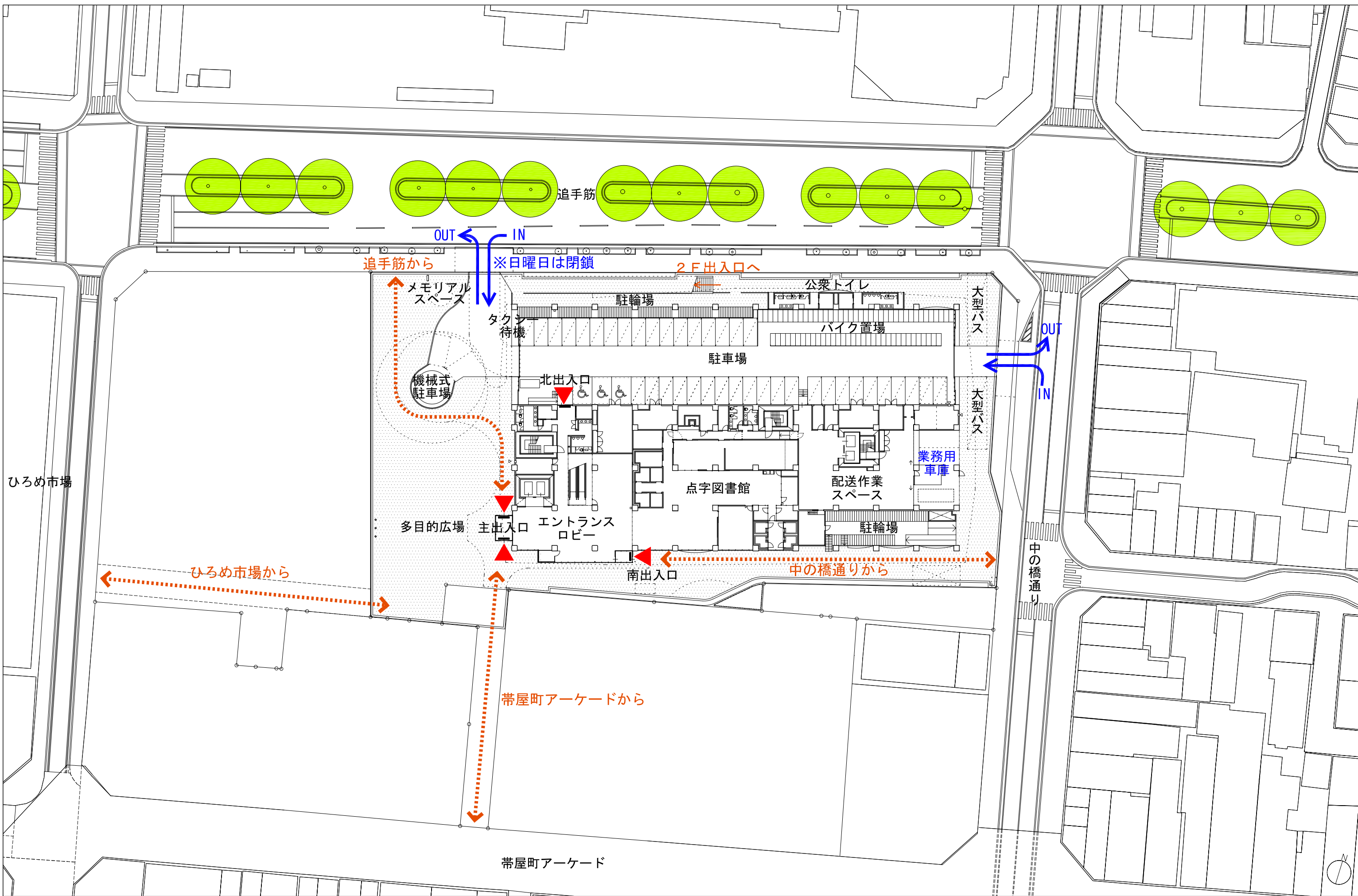
県 実質負担額 ※ a 高知市が国の交付金や合併特例債を充当した後の実質的な負担額の1/2

市 実質負担額 ※ b 国の交付金や合併特例債を充当した後の実質的な負担額の1/2

○新図書館等複合施設整備スケジュール(案)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
新図書館 基本構想	基本構想 策定					
こども科学 (図書館) 基本構想	基本構想 策定					
新点字図書館 基本構想	基本構想 策定					
	◎中間報告でパブリックコメントを実施 ◎基本構想住民説明会(県内3会場) ◎基本設計住民説明会(県内3会場) ◎実施設計住民説明会(県内3会場)					
基本計画 設計業務		基本 計画 作成	基本設計	実施設計 (H24.5~H25.8)		
埋蔵文化財 発掘調査				発掘調査 (H25.5~H25.12)	出土品整理・調査・報告書作成 (H26.1~H27.3)	
建築工事					建築工事 (H25.12~H27.8)	
こども科学館 (仮称)展示物 製作・設置等					展示物製作・設置等 (H26.6~H27.12)	開館準備 トレーニング
新図書館 情報システム等 整備			システム基本設計 (H24.5~H24.12)		システム詳細設計・構築 (H25.9~H28.2)	運用 開始
引越し 開館準備						引越し・ 開館準備 (H27.9~H28.2)
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度

開
館



凡例 ▲ 利用者出入口 ◀..... 歩行者動線 ← 車両動線

周辺図

追手筋

車両出入口

メモリアル
スペース

喫煙
スペース

公衆トイレ

駐輪場(120台)

多機能
WC

多機能
WC

大型バス

バイク(75台)

駐車場(42台)(公用車2台含む)

車両出入

機械式駐車場
(60台)

駐車場
係員室

こうちあったかパーキング

通用口

公用車

大型バス

待機スペース

北出入口

保管庫

警備員
控室

清掃員
控室

返却作業
スペース

ブックポスト

印刷
製本室

発送・作業室

録音図書用書庫・保管庫

配送作業スペース

ブックポスト

厨房

カフェ

対面読書業
小会議室

対面読書

対面読書

相談

相談

点字図書館
職員事務室

点字
変換工房

ホラ
入

校正室

主出入口

エントランスロビー

読書室

研修室

編集室

編集室

守衛室

駐輪場(71台)

多目的広場

総合案内

倉庫

南出入口

オイルタンク

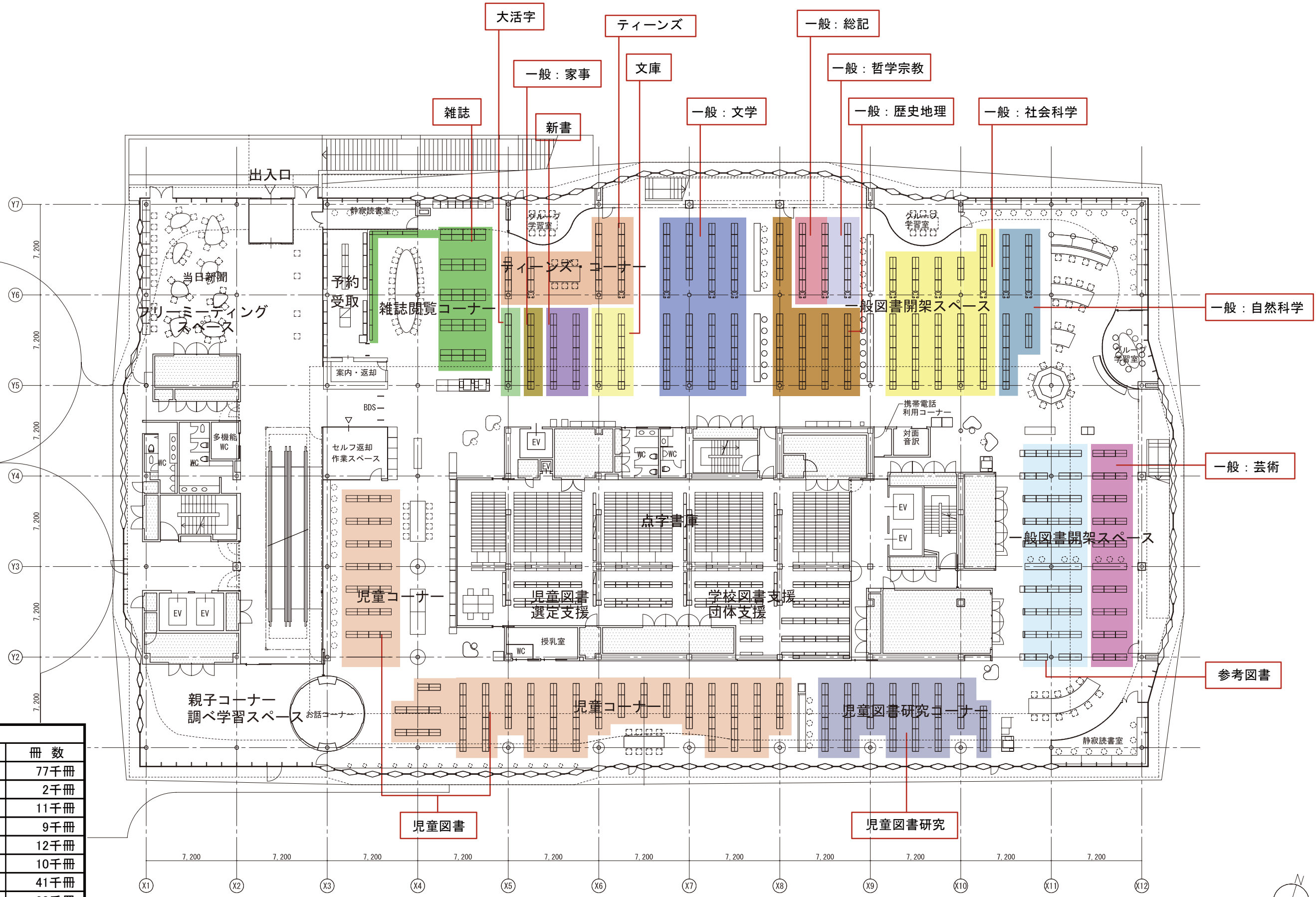
盲導犬トイレ

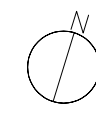
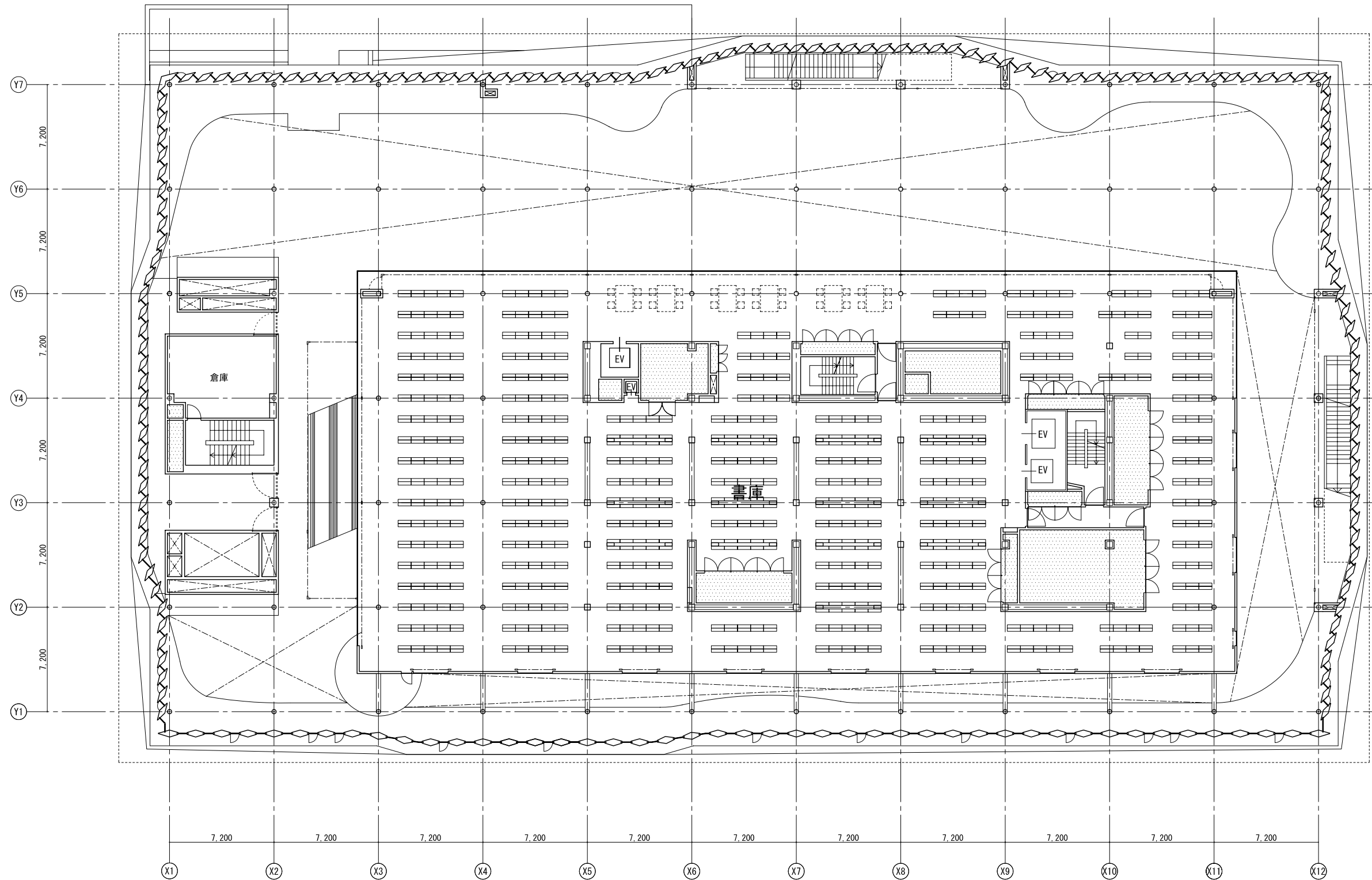
駐輪場B1階(110台)

1階

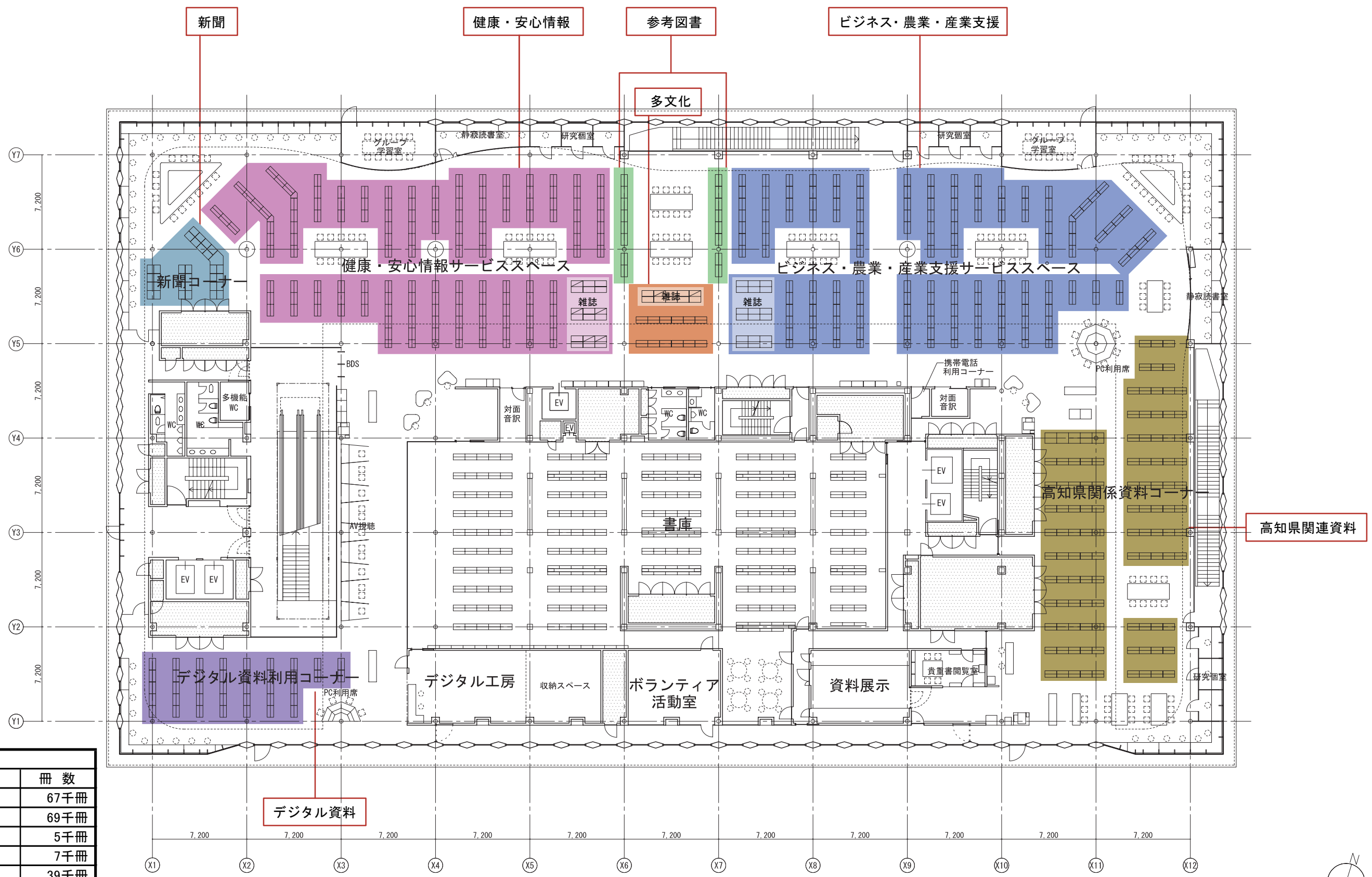
2F 開架	
分類	冊数
一般図書	77千冊
大活字	2千冊
文庫	11千冊
新書	9千冊
ティーンズ	12千冊
参考図書	10千冊
児童図書	41千冊
児童図書研究	20千冊
計	182千冊

※雑誌、新聞を除く



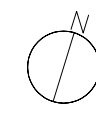
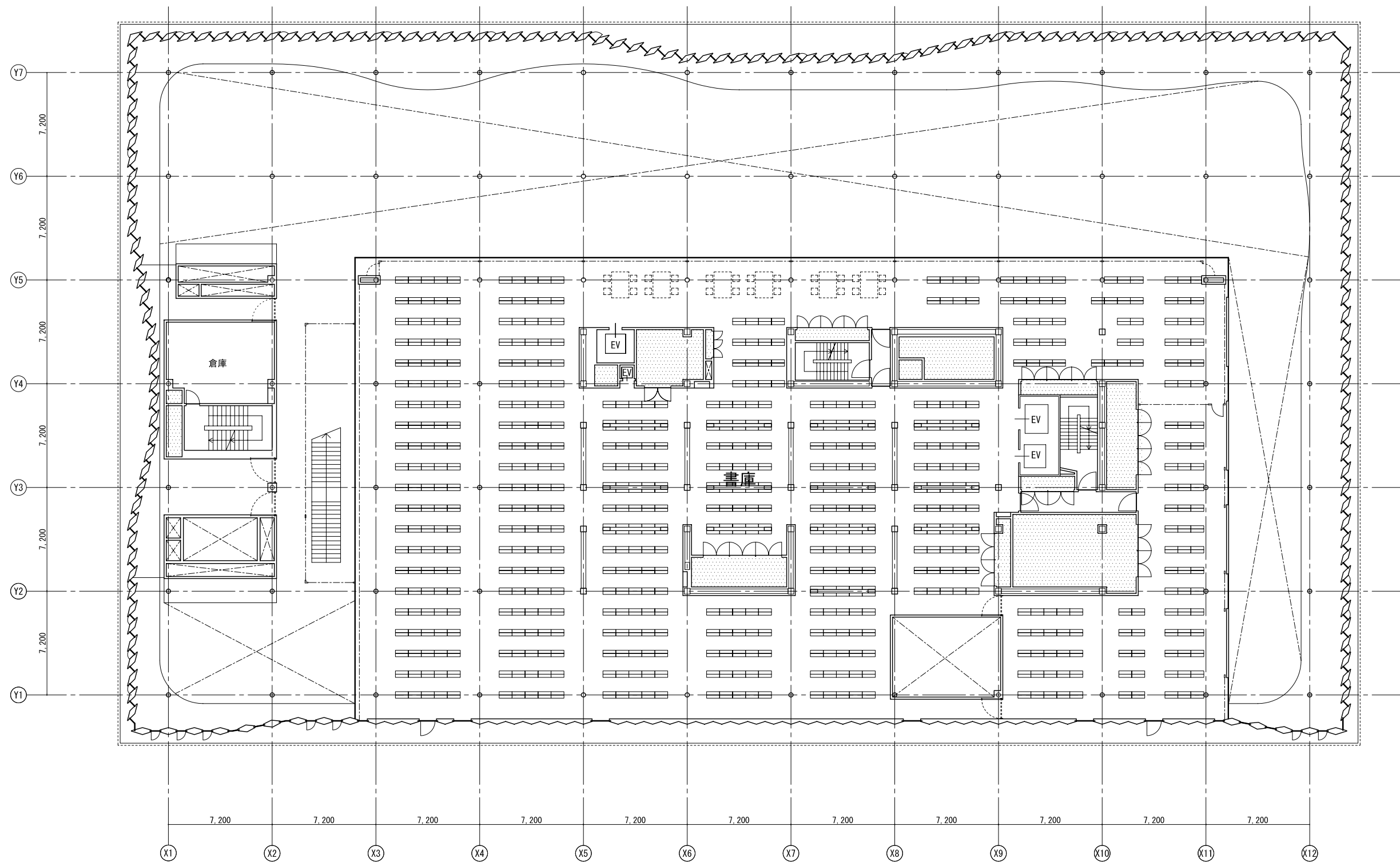


M 3 階

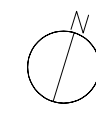
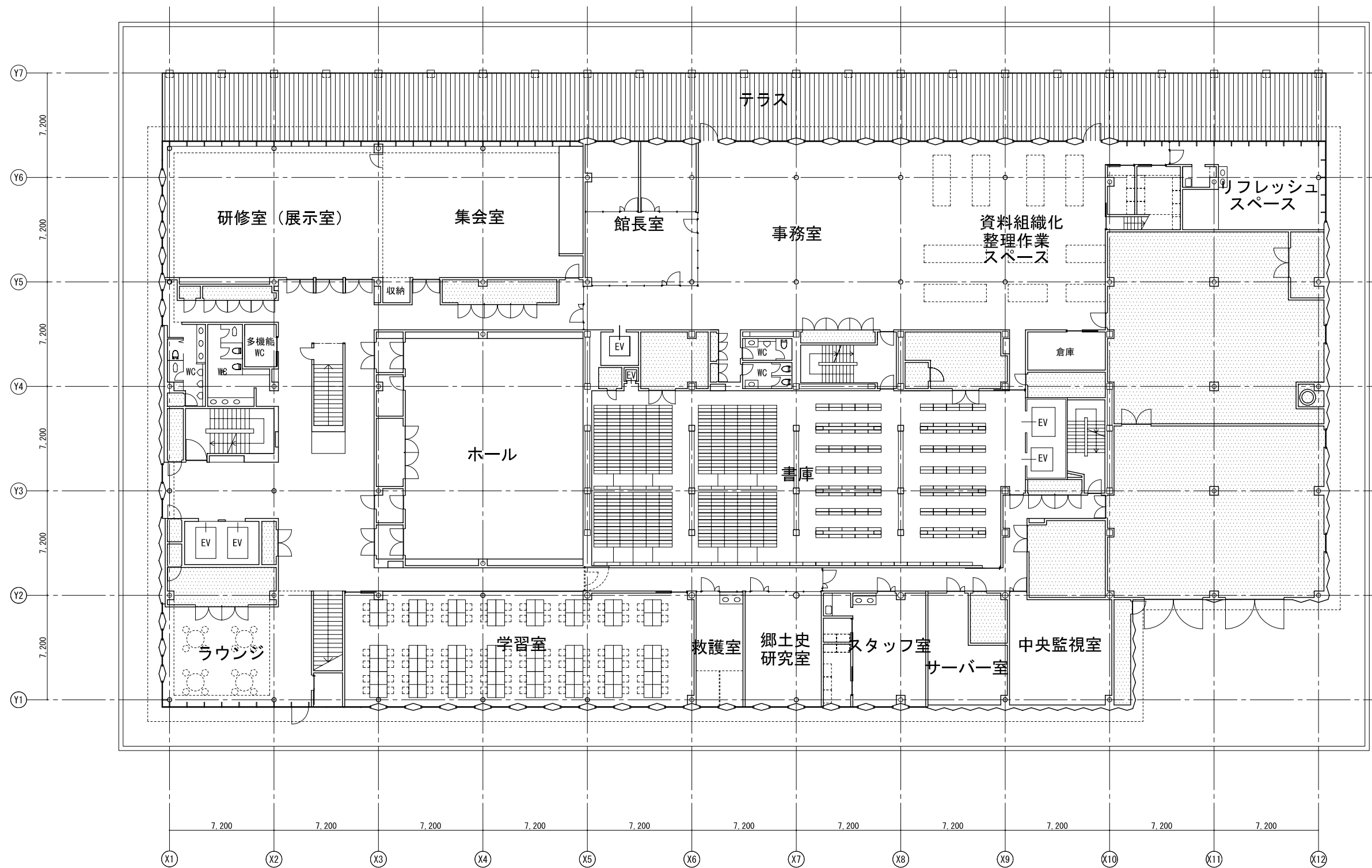


3F 開架	
分類	冊数
健康・安心情報	67千冊
ビジネス・農業・産業支援	69千冊
多文化	5千冊
参考図書	7千冊
高知県関係資料	39千冊
計	187千冊

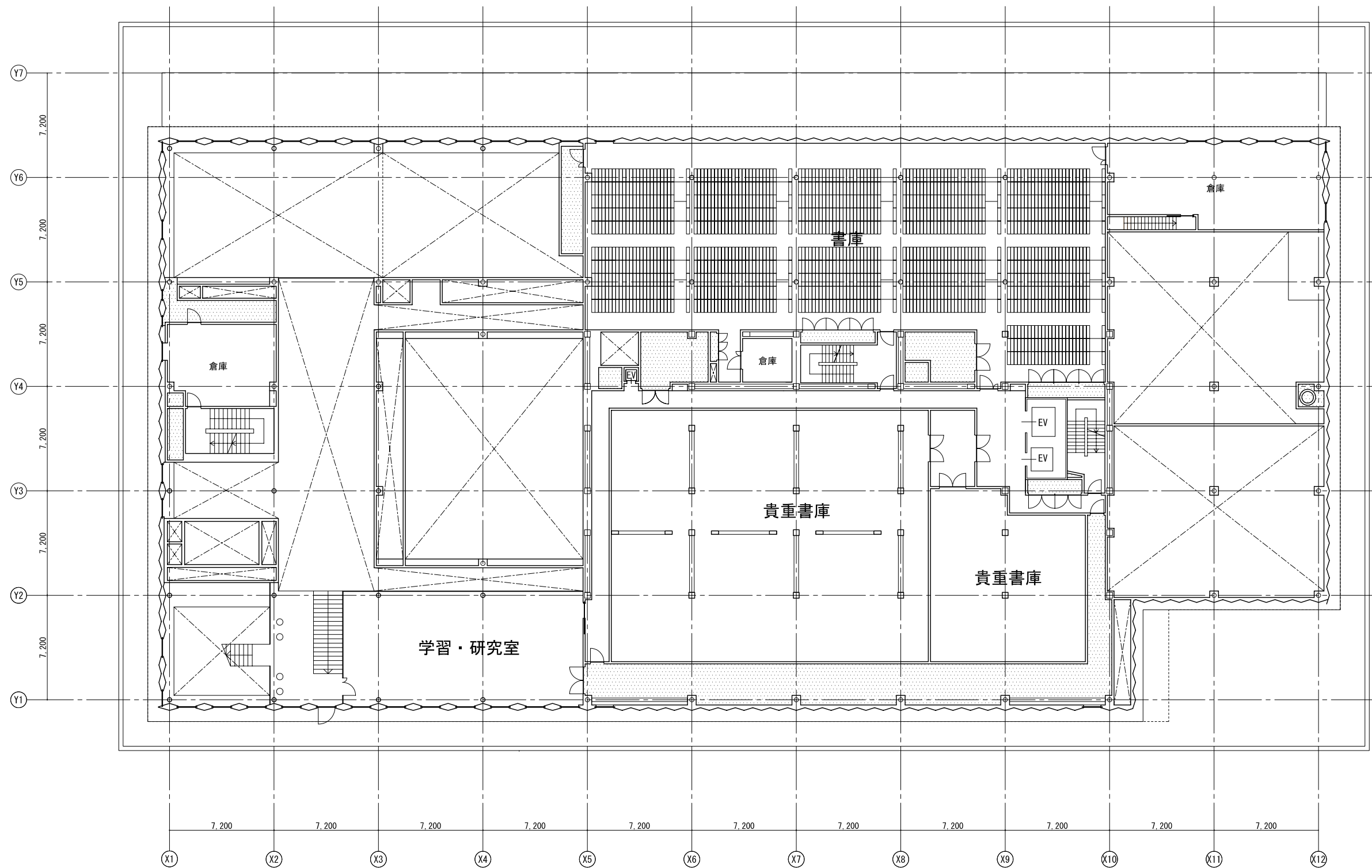
※雑誌、新聞、デジタル資料を除く



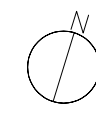
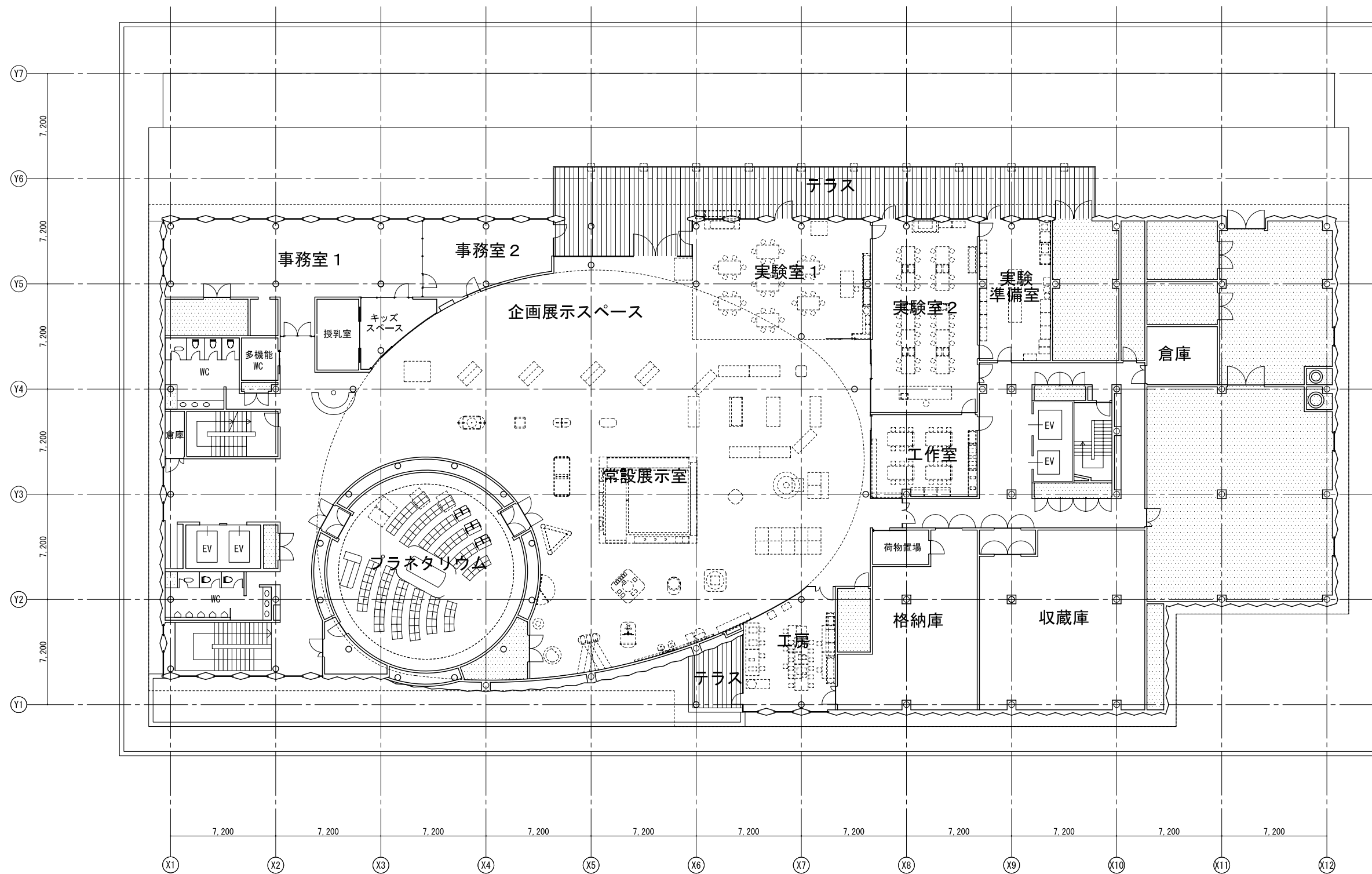
M 4 階



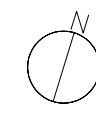
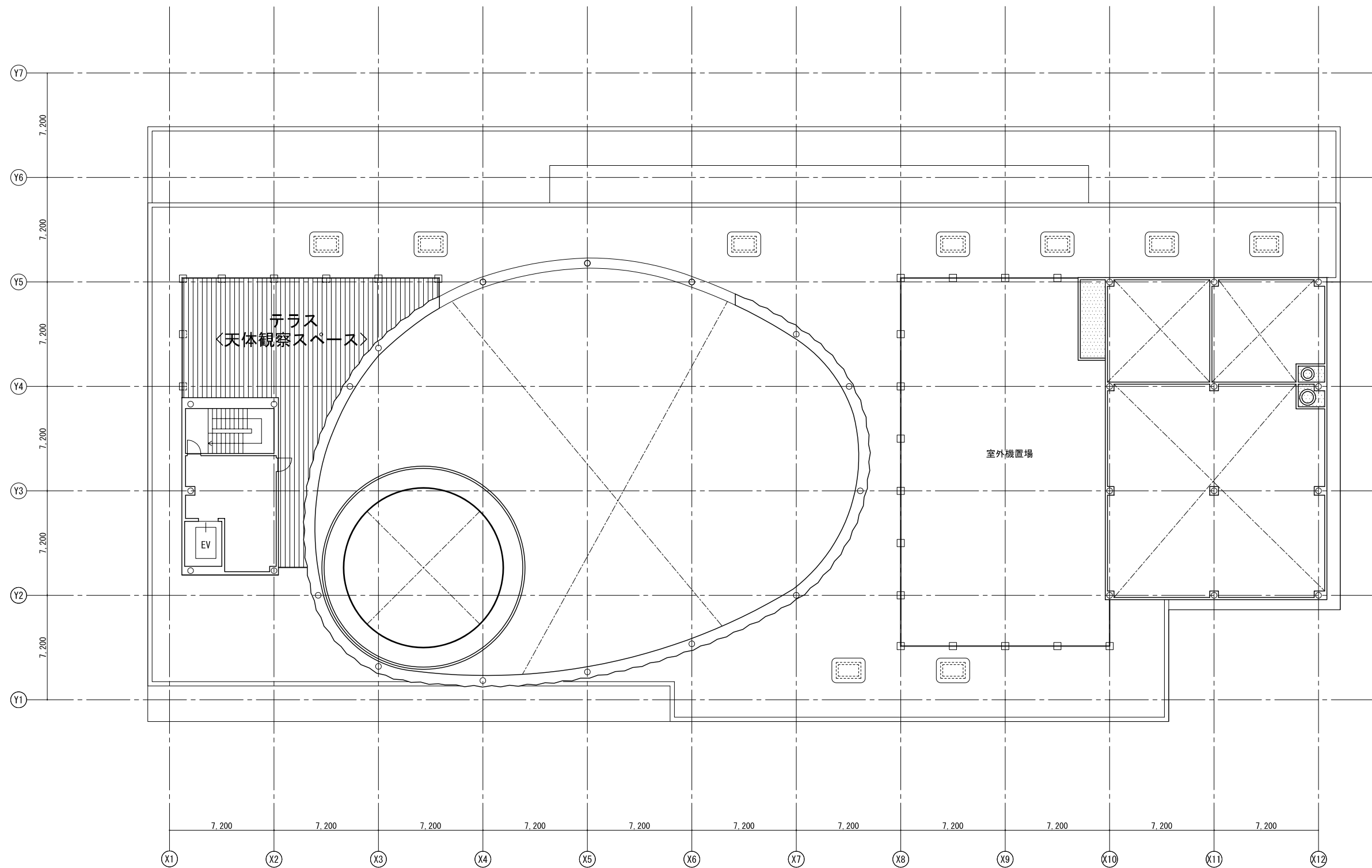
4階



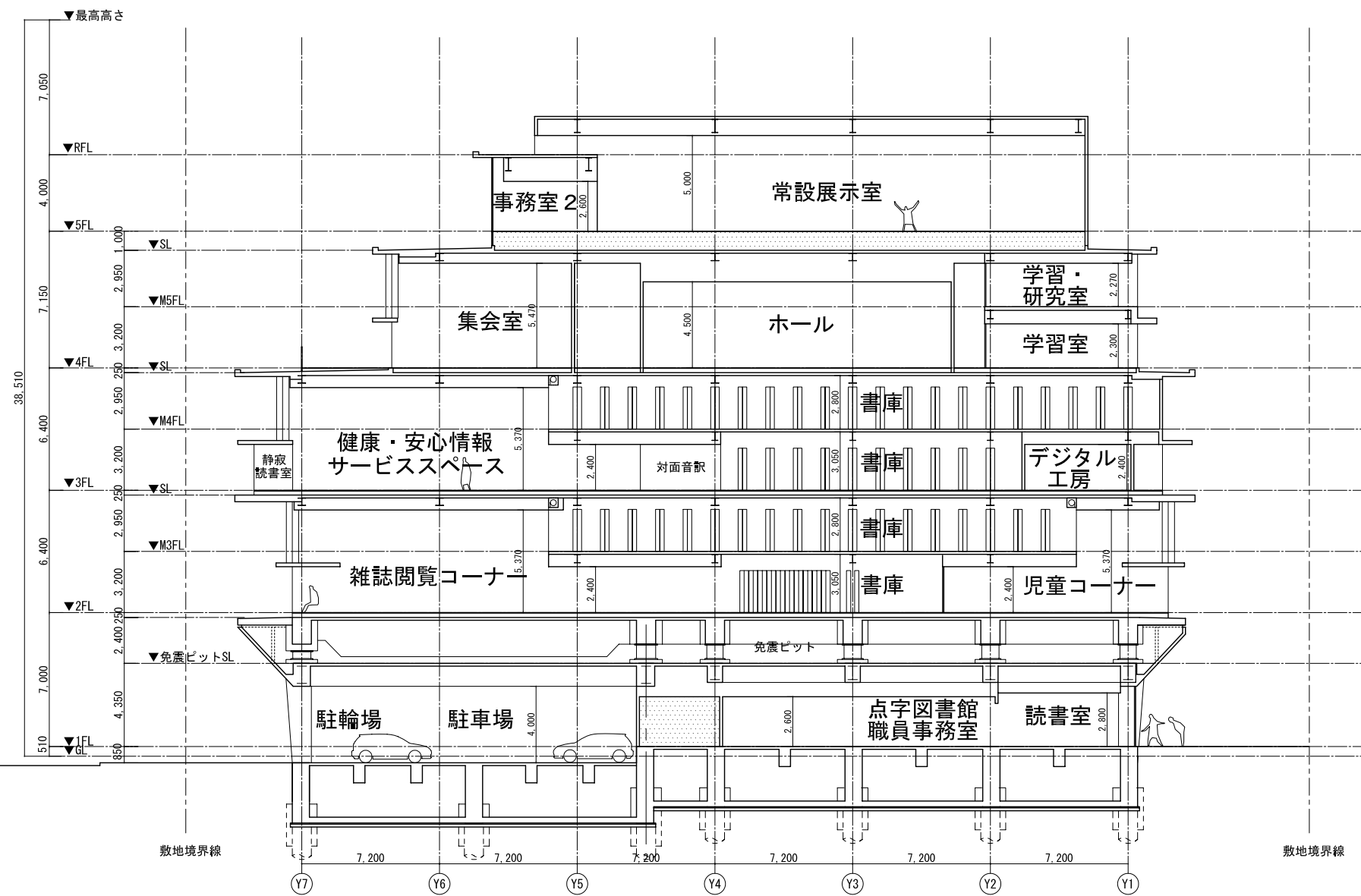
M5階



5階



R階

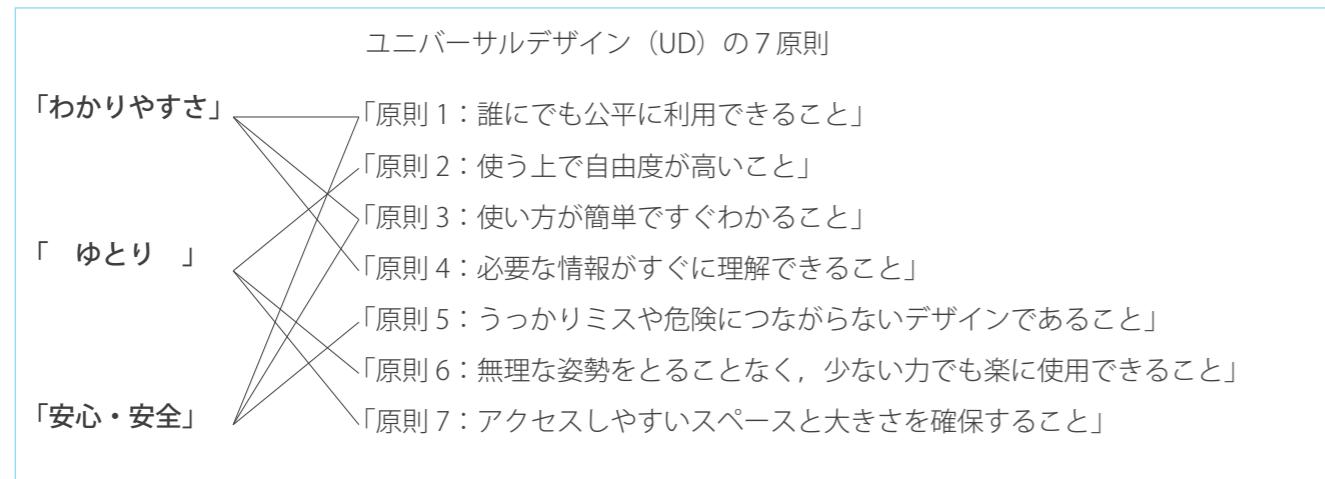


断面図 1


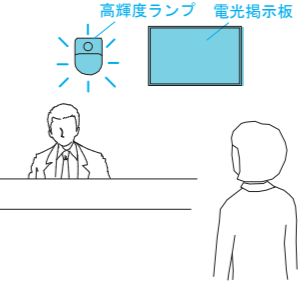

ユニバーサルデザインの方針

来館から退館に至るまでの利用者の動作・動線を想定し、配慮の行き届いた施設とします。

施設の各所で配慮する事項を「わかりやすさ」「ゆとり」「安心・安全」の3つに大別して整理し、ユニバーサルデザインの7原則に対応し、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいた施設として整備します。



障害者対応設備(例)

	音声案内装置	聴覚障害者に対する非常警報設備	補聴支援システム
概要・イメージ	視覚に障害のある方を音声によって、案内・誘導 	高輝度ランプや電光掲示板などによって、災害の発生等を光や文字情報で伝達 	聴覚に障害のある方がお使いの補聴器等で音声を聞こえやすくする装置で、〔カウンター型〕、〔設置型〕、〔携帯型〕を用途に応じて設置 
主な設置場所	<ul style="list-style-type: none"> 主出入口 エレベーター 南出入口 各トイレ前(共用部) 遊歩道入口(追手筋・中の橋通り) 点字図書館入口 	<ul style="list-style-type: none"> 総合案内 各施設カウンター 対面音訳(読書)室 各トイレ 	<ul style="list-style-type: none"> 〔カウンター型〕 総合案内 各施設カウンター 対面音訳(読書)室 〔設置型〕 ホール プラネタリウム 〔携帯型〕 研修室など

1. 『わかりやすい』誘導

■ エントランスロビーへの誘導

・追手筋や帯屋町をはじめ、各方面からエントランスロビーへスムーズにアクセスできる動線・サインを計画します。



■ わかりやすいフロア構成・ゾーニング

・大きく5階層に分けたフロアに、3つの施設をわかりやすく配置します。

■ 利用者に合わせたツール

・見やすい案内表示、誘導用床材(点字ブロック)、音声案内装置など、様々な利用者に対応したツールで誘導します。

2. 『ゆとり』のあるデザイン

■ エスカレーター、エレベーター、階段を組み合わせた垂直動線

・様々な利用者のスムーズな移動を可能にします。

■ 見通しのよい開架・閲覧スペース

・書架の配置や高さに配慮し、見通しのよい空間とします。

■ 機能が充実したトイレ

・各階に多機能トイレを設置するなど、高齢者や障害者はもとより、すべての方が使いやすい設備とします。

■ 車いす利用者への配慮

・車いす用駐車場の確保、段差の解消など、車いすでスムーズに移動できるよう配慮します。

3. 『安心・安全』な施設

■ 安全な避難経路

・わかりやすいフロア構成を生かした避難経路を計画します。

■ 死角の少ない施設

・フロア内に分散してカウンターを配置する、行き止まりをなくすなどによって、死角の少ない施設とします。

■ シックハウス防止対策

・自然系塗料などシックハウス原因物質をできるだけ含まない材料を使用します。

新図書館情報システムについて

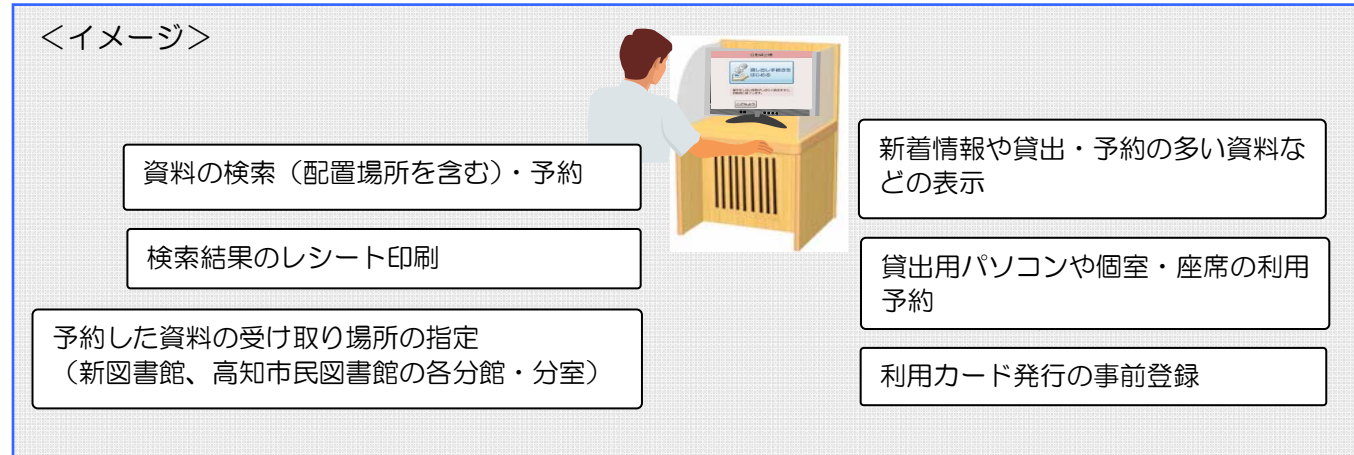
1 新図書館の館内でのサービス

① ICタグを活用した資料の貸出・返却、予約資料の受け取り



【ICタグとは】
無線通信で個体の識別が可能なICチップを内蔵したタグで、資料ごとに貼り付ける。貸出・返却の際、ICタグ・リーダー（読み取り機）に複数冊の情報を一度に読み取らせ、処理することができる。

②館内OPACによる資料の検索・予約、設備・座席等の利用予約



【OPAC（オパック 又は オーパック）とは】
コンピュータで検索ができる資料の目録のことで、現在は、資料検索だけでなく、貸出中の資料の確認や貸出期間の延長手続き、予約などの利用者サービスを充実したものが多い。
これらのサービスを提供するパソコンそのものを（館内）OPACと呼ぶこともある。

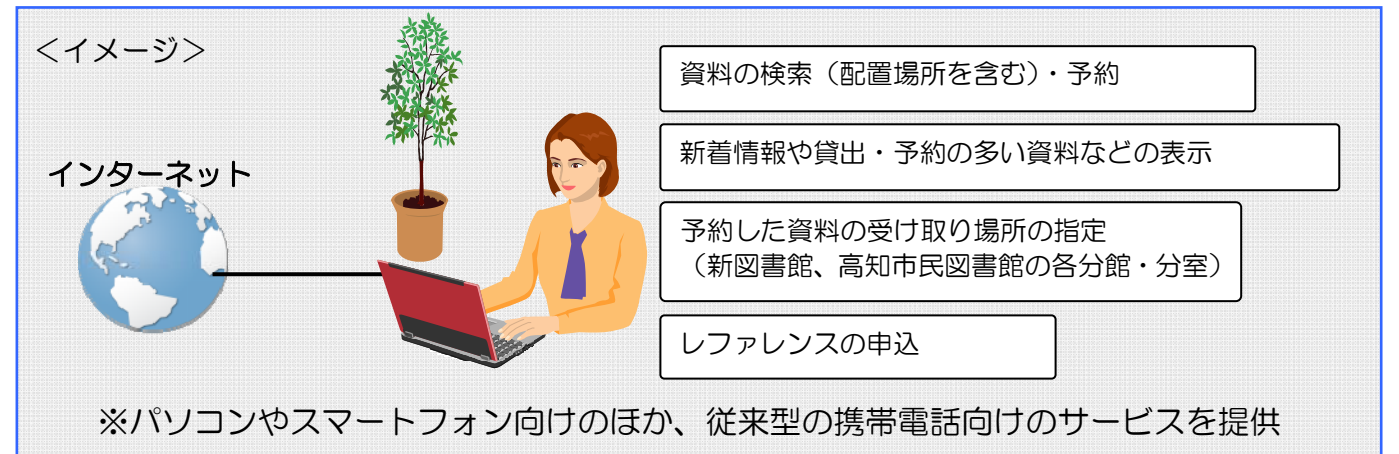
③充実したレファレンスサービス

- ・タブレット型パソコンの活用等による効率的なレファレンス
- ・レファレンスの事例の公開（国立国会図書館レファレンス協同データベース）

【レファレンスサービスとは】
利用者が調べもののために情報・資料などを求めた際に、司書が必要な情報を回答したり、資料を検索・提供したりして、利用者を支援するサービスをいう。

2 インターネット等を利用したサービス

①WebOPACによる資料の検索・予約



②高知県関係資料（郷土資料）の検索・閲覧

所蔵する高知県関係資料（郷土資料）をデジタル化し、ホームページで公開（検索・閲覧機能）

③自動電話応答

電話での資料の貸出状況の確認、貸出期間の延長手続き、予約状況の確認等（閉館時も利用可能）

3 複合施設全体でのサービス

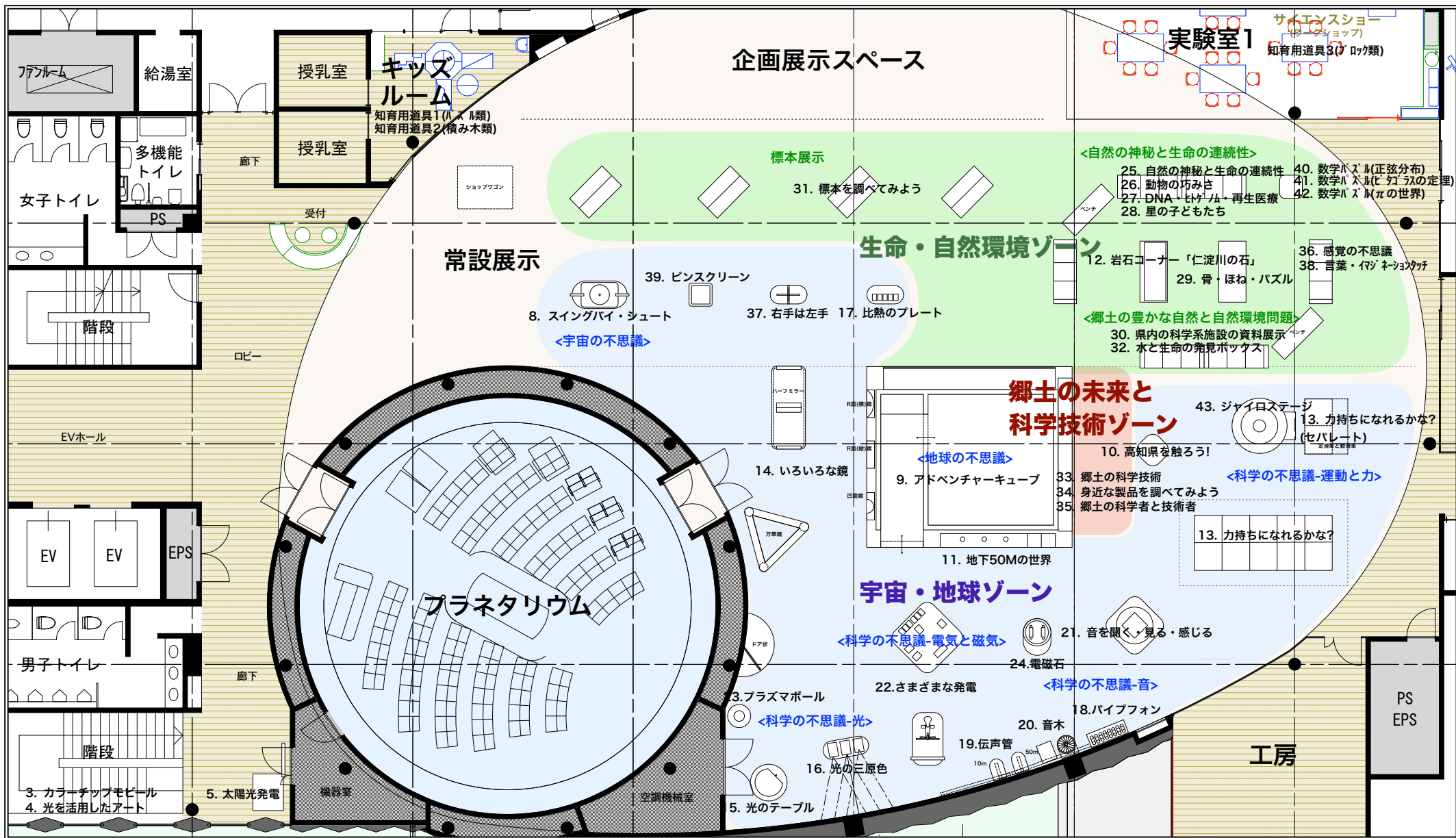
①インターネット閲覧・接続環境の提供（無線LANサービス）

無線LANによるインターネット接続環境の整備（持ち込んだパソコンやスマートフォンなども利用可能）

②デジタルサイネージによる情報提供

各施設のイベントや新着資料の情報などを大型ディスプレイでお知らせ（複合施設エントランスロビー）

こども科学館(仮称)展示アイテム配置図



こども科学館(仮称) 展示アイテム(案)

ゾーン名称等	コーナー・テーマ等	番号	アイテム(案)	形態	概要		
1Fエントランスロビー		1	ようこそ科学館へ	デジタル	・デジタルサイネージ(電子看板)で科学館や図書館情報を提供		
		2	実物資料展示	実物	・定期的な展示更新が可能なショーケースを配置し、科学館資料などを展示		
5F共用部(階段)		3	カラーチップモビール	造作	・階段の吹抜け空間を活用した展示 ・透過性のカラーチップを使ったモビールなど立体的なスタンドグラスのようなイメージ		
		4	光を活用したアート	造作	・壁面に開けられた穴に偏光フィルム等を貼ったアートの展示		
屋上		5	太陽光発電	設備	・屋上にパネルを設置し、「No22 さまざまな発電」と連動させる		
施設内		6	免震構造の見える化	造作	・免震構造の見える化して紹介		
外構		7	岩石園	実物	・外構の一部として、岩石を展示		
常設展示室	宇宙・地球ゾーン	宇宙の不思議	8	スイングバイ・シュート	装置	・重力場(重力が作用する空間)で曲がる星の運行を擬似的に再現した展示	
			地球の不思議	9	アドベンチャー・キューブ	デジタル	・まるで映像の中に入り込んだような感覚になるシアター ・海底へ潜ったり、室戸ジオパークなどの自然の中に飛び込むソフトを検討
				10	高知県を触ろう!	造形	・海底まで表現された高知県の地図 ・通常は見られない海底の起伏やプレート(位置を触って確かめられる ・室戸ジオパークや高知市付近の古代から現代に至る姿(地図)など)についてグラフィックで紹介
				11	地下50mの世界	実物	・こども科学館(仮称)の立地場所の地質学的な歴史について、コアサンプルを交えて紹介 ・コアサンプルの展示に併せ、地質を構成する岩石等の種類や当時の陸地部分などのマップを紹介
		12	岩石コーナー「仁淀川の石」	実物	・「No10 高知県を触ろう!」と連携した実物資料として紹介		
		科学の不思議	運動と力	13	力持ちになれるかな?	装置	・テコ、滑車、ギアなどを組み合わせ、ゴールまでボールを運びながら、力学を楽しく学べる展示
				光と熱	14	いろいろな鏡	装置ほか
			15		光のテーブル	装置	・LED等の光源を使い、光の分光、反射、屈折などの実験ができるテーブル
			16		光の三原色	装置	・光の三原色(RGB)を合成する実験装置 ・光源を移動させることで、補色の実験もできる
			17		比熱のプレート	造形・装置	・同じ温度のものを触に触れているのに、冷たく感じたり、温かく感じたりするのはなぜかを学ぶ展示 ・表面温度の測定表示も行う
			音	18	パイプフォン	装置	・カラリングした塩ビ管でつくった大型パイプフォン ・開口部を叩くと、音階に沿った楽しい音を聞くことができ、簡単な演奏にも挑戦できる
				19	伝声管	装置	・チューブを蛇行させたもので、ヘッドホンをかけて叩くと到達時間の差が感じとれる ・チューブの一方でしゃべるものも設置
	20			音木(ミュージック・ツリー)	造形	・県産木材を使ったラセン階段状の木琴に球を転がして曲を奏でる ・子ども科学図書館にある展示物を移設	
	電気と磁気		21	音を聞く・見る・感じる	装置	・音の振動により、細かな砂が紋様を描く	
			22	さまざまな発電	装置	・太陽光、人力、圧電素子による発電など、さまざまな発電方法や発電量の違いなどを比較できる展示 ●太陽光発電:出力表示等 ●足踏ぎ人力発電 ●圧電素子を使った発電 ●手のひら発電	
		23	プラズマボール	装置	・ガラスのボールに手を触れると、放電する電子が手に吸収されるように動く ・子ども科学図書館にある展示物を移設		
		24	電磁石	装置	・スイッチを押すと電磁石がON状態となり、金属片等が電磁石に引き付けられる ・方位磁石を付属させることで磁界の発生を視覚化する		
	生命・自然環境ゾーン	自然の神秘と生命の連続性	25	自然の神秘と生命の連続性	グラフィック・造作	・小型ブック型グラフィック ・昆虫の複眼と超LSIの複雑な仕組みの電子顕微鏡写真を同じ倍率で比べるなど、生命が創造した形と人工的に創られた形を見比べながら、自然の神秘を学ぶ ・生命の連続性を感じとれる「種」なども紹介	
			26	動物の巧みさ	グラフィック・造作		
			27	DNA・ヒトゲノム・再生医療	グラフィック・造作		
			28	星の子どもたち	グラフィック・造作		
		29	骨・ほね・パズル	造形	・人骨(レプリカ)のパズル型展示 ・骨のつき方などが分かるグラフィック等も整備し、分かりやすくする		
	郷土の豊かな自然と自然環境問題	30	県内の科学系施設の資料展示	実物	・各施設を紹介する資料などを展示		
		31	標本を調べてみよう	実物	・各種の標本類の展示		
32		水と生命の発見ボックス	デジタル	・県内の絶滅種や絶滅危惧種などの生物を紹介			
郷土の未来と科学技術ゾーン		33	郷土の科学技術	デジタル	・県内の農業や工業の技術、大学・高専などが有する技術を紹介		
		34	身近な製品を調べてみよう	実物	・身近な工学製品の実物を部分的に分解したものなどを展示し、その仕組みなどを紹介		
		35	郷土の科学者と技術者	デジタル	・細川半蔵頼直、寺田寅彦、現在活躍している科学者・技術者の方々を紹介		
その他の展示		36	感覚の不思議	グラフィック	・錯覚や錯視などのグラフィック展示		
		37	右手は左手	装置	・鏡に写る右手を動かすと、左手が勝手に動いたように錯覚する展示		
		38	言葉・イメージーションタッチ	造作・グラフィック	・言葉と点字のヒントを頼りに、箱の中に手を入れて中身を当てる展示		
		39	ピンスクリーン	装置	・手足や身体を押しつけたところがへこみ、スクリーンの裏側は出っ張るようになった展示		
		40	数学パズル(正弦分布)	装置	・PCを使用した展示とする ・運営側でパズルの内容を更新できるようにする		
		41	数学パズル(ピタゴラスの定理)	装置	・PCを使用した展示とする ・運営側でパズルの内容を更新できるようにする		
		42	数学パズル(πの世界)	装置	・PCを使用した展示とする ・運営側でパズルの内容を更新できるようにする		
キッズルーム		43	ジャイロステージ	装置	・慣性力(回転するコマを傾けると元の状態を維持しようとするために発生する力)の効果(ジャイロ効果)を体験する展示		
		44	知育用遊具(パズル類)	装置			
実験室1		45	知育用遊具(積み木類)	装置			
		46	知育用遊具(ブロック類)	装置			

○開館日時について

		新図書館【案】	県立図書館【現状】	市民図書館本館【現状】
休館日	週休日	月曜日（祝日の場合は開館）	月曜日	月曜日
	祝日		こどもの日、文化の日、土曜日と重なった祝日以外の祝日	すべての祝日
	資料整理日	毎月第3金曜日（8月を除く）	毎月末金曜日（12月を除く）	毎月20日
	資料特別整理期間	8月：4日間	2月：4日間	3月：5日間程度
	年末年始	12/29～1/4	12/29～1/4	12/28～1/4
年間開館日数		300日程度	H23：288日	H23：284日
開館時間	平日	午前9時～午後8時	午前9時～午後7時	午前9時30分～午後7時
	土日（祝日）	午前9時～午後6時	午前9時～午後5時	午前9時30分～午後5時

※こども科学館(仮称)の開館時間は、全日：午前9時～午後5時（休館日は新図書館と同じ）

※点字図書館については、別途検討中



